

## 福島経済マンスリー

# 2月の県内経済は、一部に弱い動きがみられるものの、全体では持ち直しの動きが続いている。

### 1. 2017年2月の県内経済

項 目	コ メ ン ト	景 況 判 断	
		変化方向	水 準
県内経済の景況	県内経済は、生産活動の弱さが続いているものの、全体では持ち直しの動きが続いている。		
消費動向	大型小売店販売額は、合計では3カ月連続で前年を下回った。一方、新車登録台数は4カ月連続で前年を上回った。		
公共投資	公共工事前払保証取扱は、件数、請負金額、保証金額がいずれも2カ月ぶりで前年を上回った。		
設備投資	民間・非居住用建築着工は、棟数、床面積がともに4カ月連続、工事費予定額が2カ月ぶりでいずれも前年を下回った。		
住宅投資	新設住宅着工戸数は、復興特需を背景に高止まりであったが、2カ月連続で前年を下回り、水準を押し下げた。内訳をみると、持家が2カ月ぶり、貸家が2カ月連続でそれぞれ前年を下回った。一方、分譲は4カ月連続で前年を上回った。		
生産活動	鉱工業生産指数は、前月比が+1.2%、前年比が△6.0%となった。業種別の前月比をみると、7業種で上昇したが、12業種で下降した。		
雇用動向	有効求人倍率は、季節調整値が前月比+0.01ポイント、原数値が前年同月比+0.05ポイントとなった。一方、雇用保険受給者実人員は前年同月比△3.2%となった。		

注：「変化方向」は前月と比較した現在における景況の変化方向（：改善、：不変、：悪化）、「水準」は現在における景況の水準をそれぞれ示す。「変化方向」は当月と前月における3カ月加重移動平均の前年同期比の比較、「水準」は当月の3カ月加重移動平均値と過去5年間の平均値の比較により、それぞれ判断している。ただし、「変化方向」が改善または悪化の場合でも、「水準」が変わらない場合もある。したがって、足元の動向を示す「コメント」と「景況判断」は異なる場合もある。なお、公共投資および設備投資は6カ月加重移動平均値による判断、鉱工業生産指数は1月データ。

〈天気図（水準）の意味〉				
晴 れ	晴れ一部曇り	曇 り	曇り一部雨	雨
良 い			悪 い	

## 2. 県内経済動向の概要

### (1) 前年同月比

(単位：％、ポイント)

	項 目	前 年 同 月 比					
		2016年9月	10 月	11 月	12 月	2017年1月	2 月
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）	△ 2.0	0.8	0.4	△ 1.3	△ 0.9	P △ 3.4
	乗用車新車登録台数	△ 0.6	△ 0.7	3.9	12.8	3.0	1.9
公共投資	公共工事前払保証取扱保証請負金額	59.8	△ 6.8	△ 24.1	79.9	△ 4.9	80.6
設備投資	建設着工工事費予定額（民間・非居住用）	△ 32.2	4.6	△ 52.5	△ 21.4	90.6	△ 35.2
住宅投資	新設住宅着工戸数	3.3	19.6	13.6	4.3	△ 15.3	△ 15.5
生産活動	鉱工業生産指数（総合）	△ 1.8	△ 6.3	0.0	△ 4.3	△ 6.0	—
雇用動向	有効求人倍率（パート含む）	△ 0.11	△ 0.02	0.00	△ 0.02	△ 0.01	0.05
	雇用保険受給者実人員	△ 4.1	△ 2.7	△ 2.0	△ 3.9	△ 0.5	△ 3.2

注1 鉱工業生産指数と有効求人倍率は原指数。Pは速報値、rは訂正值。

### (2) 前月比

(単位：％、ポイント)

	項 目	前 月 比					
		2016年9月	10 月	11 月	12 月	2017年1月	2 月
消費動向	大型小売店販売額（全店舗）	△ 10.8	8.6	△ 1.5	25.4	△ 16.8	P △ 11.3
	乗用車新車登録台数	40.5	△ 14.4	9.6	△ 5.6	3.9	13.4
公共投資	公共工事前払保証取扱保証請負金額	△ 23.1	△ 19.0	△ 33.1	87.8	△ 31.4	△ 26.0
設備投資	建設着工工事費予定額（民間・非居住用）	50.8	222.6	△ 72.2	24.0	77.4	△ 59.3
住宅投資	新設住宅着工戸数	△ 15.4	20.2	△ 19.6	11.7	△ 37.6	16.1
生産活動	鉱工業生産指数（総合）	△ 1.8	△ 1.7	3.3	△ 2.6	1.2	—
雇用動向	有効求人倍率（パート含む）	△ 0.01	0.03	0.03	△ 0.03	0.03	0.01
	雇用保険受給者実人員	△ 6.0	△ 5.4	△ 5.1	△ 3.7	2.0	△ 0.2

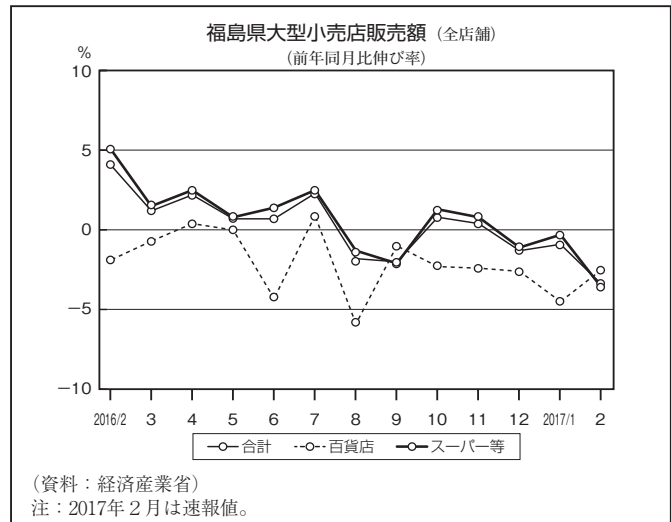
注2 鉱工業生産指数と有効求人倍率は季節調整値。Pは速報値、rは訂正值。

### 3. 県内経済動向

#### 消費動向

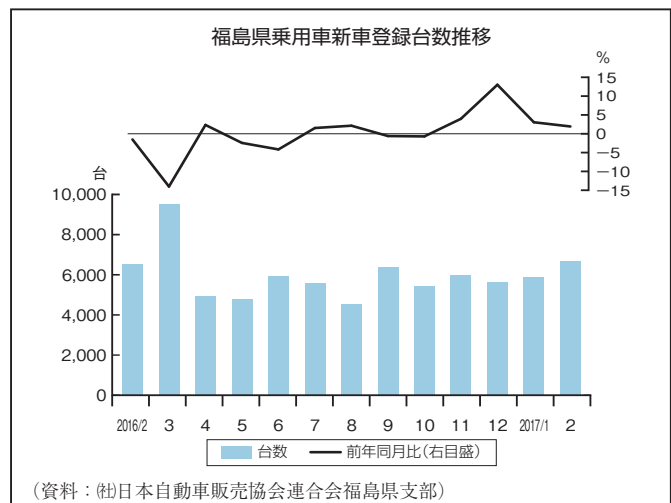
##### 大型小売店：3カ月連続で前年比減

2月の県内大型小売店の販売額（全店舗ベース、速報値）は、合計で189億21百万円（前年同月比△3.4%）と3カ月連続で前年を下回った。業態別で見ると、百貨店は、衣料品、飲食料品とも前年を下回ったことなどから、合計では同△2.5%となった。また、スーパーも、衣料品、飲食料品がいずれも前年割れしたことから、合計では同△3.6%となった。



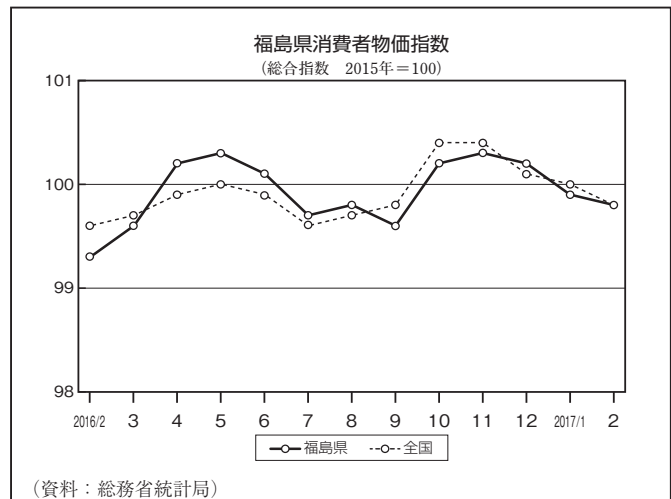
##### 乗用車販売：4カ月連続で前年比増

2月の乗用車新車登録台数（ナンバーベース）は、合計で6,641台（前年同月比+1.9%）となり、4カ月連続で前年を上回った。車種別で見ると、軽乗用車が2,565台（同△4.1%）と3カ月ぶりで前年を下回った。一方、普通車は2,087台（同+0.2%）と3カ月ぶり、小型車が1,989台（同+13.0%）と4カ月連続でそれぞれ前年を上回った。



##### 消費者物価指数：前年比で上昇、前月比で下降

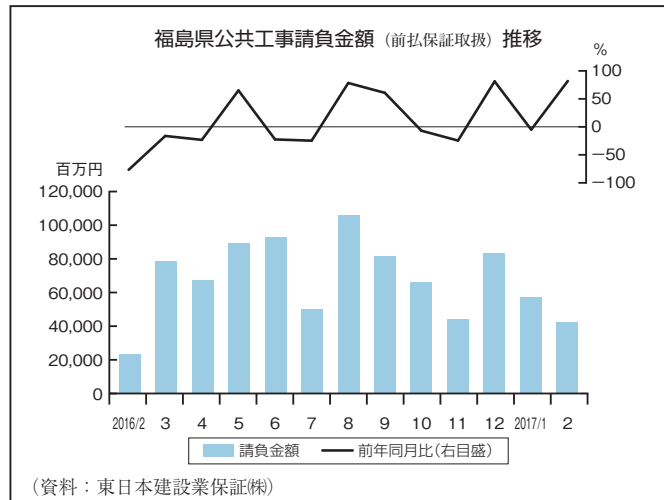
2月の消費者物価指数は、総合指数（福島市、2015年=100）で見ると、99.8で前年同月比+0.5%、前月比△0.1%となった。費目別に前月比で見ると、「交通通信」が97.9（同△0.7%）など6費目で下降したが、「被服及び履物」が99.3（同+2.2%）など3費目で上昇した。



公共投資

公共工事：請負額は2カ月ぶりで前年比増

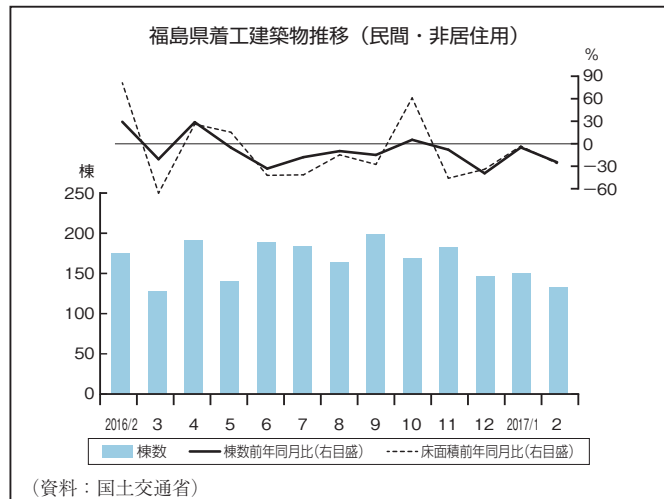
2月の公共工事前払保証取扱は、件数が333件（前年同月比+0.9%）、請負金額が424億73百万円（同+80.6%）、保証金額が276億28百万円（同+92.7%）と2カ月ぶりでいずれも前年を上回った。



設備投資

設備投資：工事費予定額が2カ月ぶりで前年比減

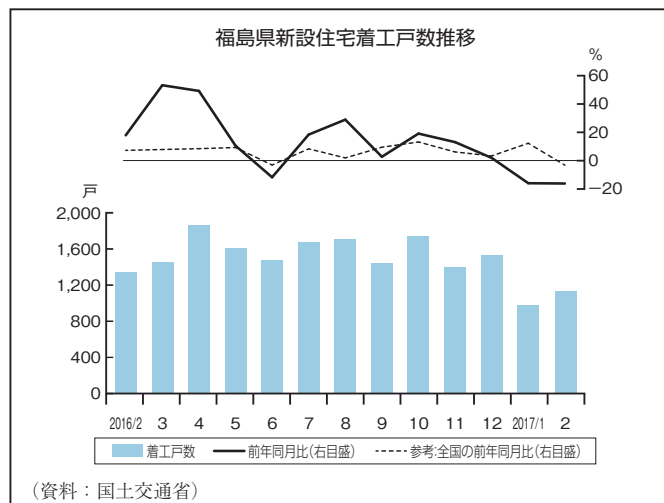
2月の建築着工（民間・非居住用）は、棟数が132棟（前年同月比△24.6%）、床面積が55,226㎡（同△26.3%）とともに4カ月連続、工事費予定額が90億94百万円（同△35.2%）と2カ月ぶりでいずれも前年を下回った。



住宅投資

住宅建設：2カ月連続で前年比減

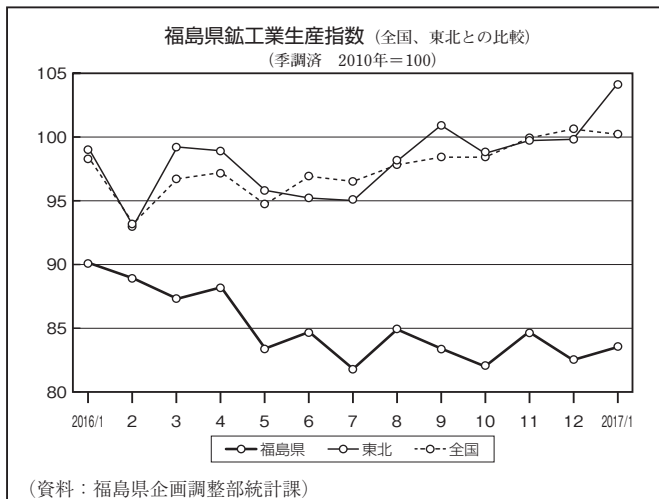
2月の県内新設住宅着工戸数は、1,132戸（前年同月比△15.5%）と2カ月連続で前年を下回った。主な利用関係別にみると、「持家」が461戸（同△24.9%）と2カ月ぶり、「貸家」が468戸（同△14.8%）と2カ月連続でそれぞれ前年を下回った。一方、「分譲」は188戸（同+7.4%）と4カ月連続で前年を上回った。



生産活動

鉱工業生産指数：前年比は下降、前月比は上昇

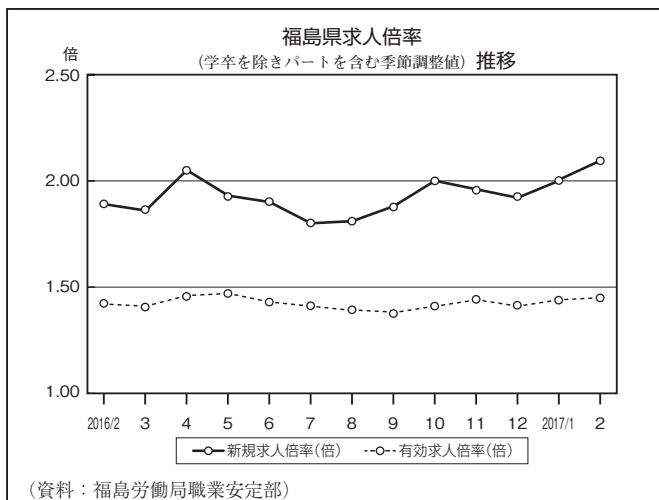
1月の鉱工業生産指数は、83.5（季節調整値）で前月比+1.2%と前月値を上回ったが、原指数が77.8で前年比△6.0%と前年値を下回った。業種別の季節調整値をみると、「電気機械工業」（前月比+15.2%）など7業種で上昇したが、「その他製品工業」（同△10.5%）など12業種で下降した。



雇用動向

雇用動向：有効求人倍率は前年比、前月比上昇

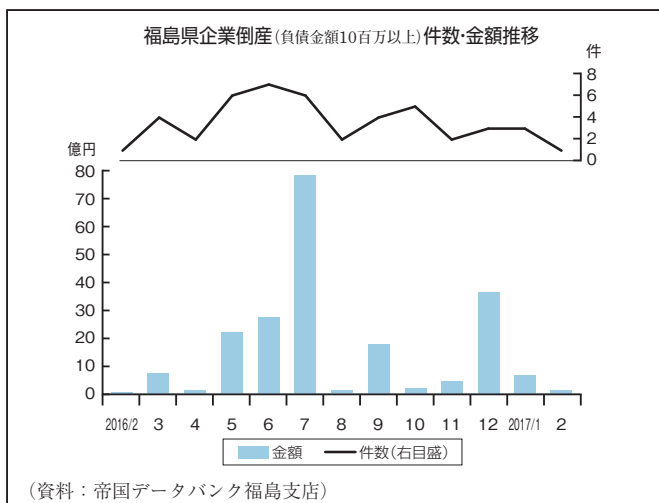
2月の新規求人倍率は、季節調整値が2.09倍（前月比+0.09ポイント）、原数値が2.00倍（前年同月比+0.23ポイント）となった。また、2月の有効求人倍率は、季節調整値が1.45倍（前月比+0.01ポイント）、原数値が1.53倍（前年同月比+0.05ポイント）となった。一方、2月の雇用保険受給者実人員は5,722人（前年同月比△3.2%）で前年を下回った。



企業倒産

企業倒産：金額は前年比増

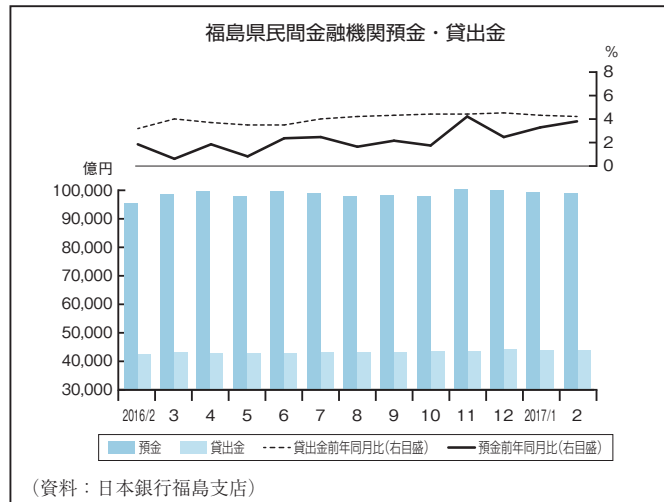
2月の企業倒産（負債金額10百万円以上）は、件数が1件（前年同月比0.0%）、負債総額が70百万円（同+600.0%）と、金額が前年を大きく上回った。業種別では、製造業が1件だった。



金融動向

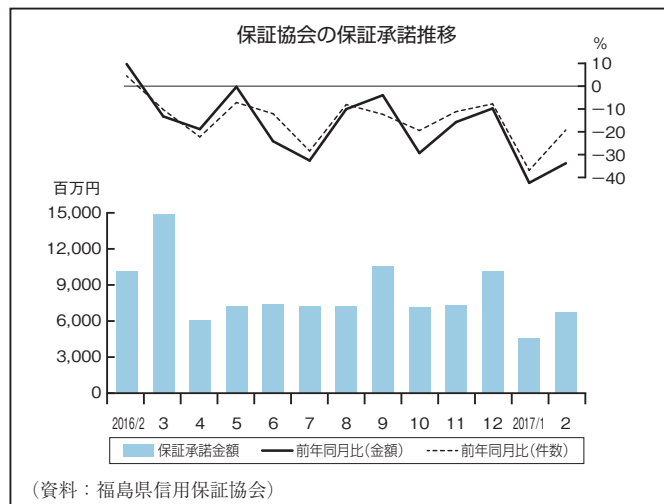
資金需給：預金、貸出金とも前年比で増加

県内金融機関（全国銀行、信用金庫、信用組合の県内店舗分）の2月末の預金残高は、9兆9,162億円（前年同月比+3.7%）と10年連続、貸出金残高は、4兆3,990億円（同+4.1%）と3年9カ月連続で前年を上回った。



保証協会：保証承諾は件数、金額とも前年比減

2月の保証承諾は、件数が618件（前年同月比△19.3%）、保証金額が66億87百万円（同△33.9%）となった。また、2末日現在の保証債務残高は、件数37,402件（同△10.2%）、金額3,211億88百万円（同△11.6%）となった。一方、2月中の代位弁済は、件数が16件（同△69.8%）、金額が1億14百万円（同△72.6%）となった。



4. 業種別動向

消費動向

※企業ヒアリング等による結果

**家電量販店** 2月の家電量販店の売上高は、洗濯機などが前年を上回ったものの、デジタルカメラなどが前年を下回ったことから、合計では前年を5%ほど下回った。

**ホームセンター** 2月のホームセンターの売上高は、園芸や工具金物などを中心に前年を上回ったことから、合計では前年を30%ほど上回った。

**旅行** 2月の旅行取扱額は、国外が個人を中心に前年を下回ったものの、国内が前年を上回ったこ

とから、合計では前年比で5%ほど増加した。

**高速道路** 2月の県内自動車道出入口数は、合計で4,622,673台（前年同月比△2.4%）と、5カ月ぶりで前年を下回った。路線別にみると、磐越自動車道（磐梯熱海 IC～西会津 IC）は487,724台（同△1.7%）と4カ月連続、常磐自動車道（いわき勿来 IC～新地 IC）は1,577,403台（同△2.6%）と3年ぶり、東北自動車道（白河 IC～国見 IC）は2,227,161台（同△2.2%）と5カ月ぶり、磐越自動車道（いわき三和 IC～郡山東 IC）は330,385台（同△3.6%）と2カ月ぶりでいずれも前年を下回った。

**福島空港** 2月の福島空港国内定期路線の利用状

況は、14,403人（前年同月比△6.2%）と前年を下回った。路線別にみると、札幌便は3,802人（同△12.8%）、大阪便は10,601人（同△3.6%）となった。

（国際定期路線は全便運休）

## 生産活動

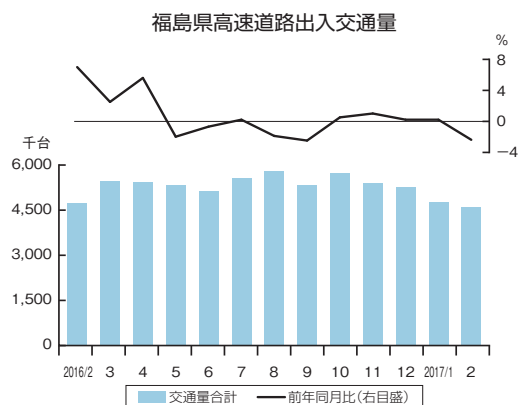
**化学** 2月の高機能樹脂は、自動車の部品用素材向けなどを中心にフル稼働を続けており、前年並みの堅調な生産を維持している。

**鉄鋼・金属** 2月の伸銅品の生産は、自動車向け端子材が国内外からの受注増などから、前年を5%以上上回る生産水準となった。また、半導体向け電子材も、海外受注が下支えとなり、前年を40%以上上回る生産となった。2月の建機用鋳造品は、中国からの受注が前年を下回ったことなどから、合計でも前年を10%程度下回る生産となった。鋳鋼品の生産は、船用部品が前年をわずかに下回ったものの、陸船用バルブなどが前年並みだったことから、合計では前年とほぼ同水準を維持している。

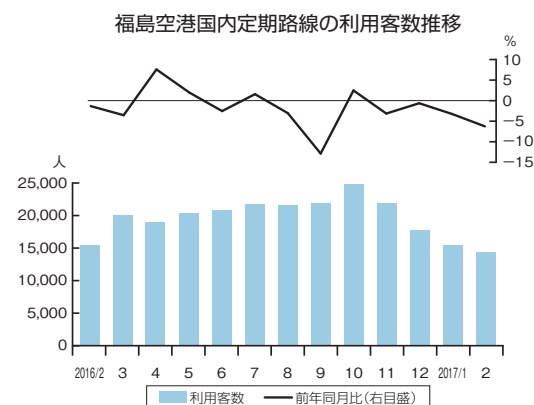
**輸送用機械** 2月の鋳造品は、トラック用では、東南アジアや北米を中心に受注が増えたことなどから、合計では前年を10%程度上回る生産となった。また、オイルシールは、国内外の自動車向けの受注増などから、全体では計画を上回る生産水準を維持している。

**電気機械** 2月の電気機械の生産は、誘導炉が前年を大きく上回ったものの、変圧器および配電盤が前年を下回ったことから、合計では前年を20%ほど下回った。

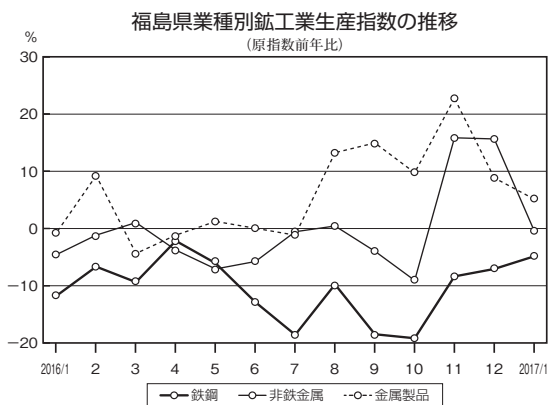
**情報通信機械** 2月の情報通信機械の生産は、国外向けマイクロ波通信装置（携帯電話の中継局）がほぼ横ばいだったものの、国内向けモバイル基地局が前年を下回ったことから、合計では前年比



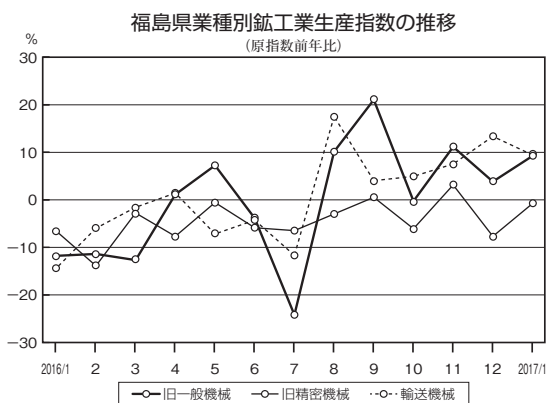
（資料：東日本高速道路㈱東北支社）



（資料：福島県商工労働部空港交流課）



（資料：福島県企画調整部統計課）



（資料：福島県企画調整部統計課）

で20%ほど減少した。

**電子部品・デバイス** 2月のLSI（大規模集積回路）の生産は、需要の回復傾向が続いていることから、前年を50%程度上回る水準となった。

**精密機械** 2月の医療用内視鏡は、国内外とも受注量が減少したことから、合計では前年を5%ほど下回る生産となった。また、デジタル一眼レフカメラ用レンズは、国内外の受注量がほぼ横ばいで推移していることから、全体では前年並みの生産水準となった。

**窯業・土石** 2月の生コンクリート出荷量は、全体で126,895m<sup>3</sup>（前年同月比△17.9%）と12カ月連続で前年を下回った。民需・官公需別にみると、民需は6地区すべてが前年を下回り、合計で同△25.6%となった。また、官公需も白河以外の5地区が前年を下回ったことから、合計で同△26.5%となった。

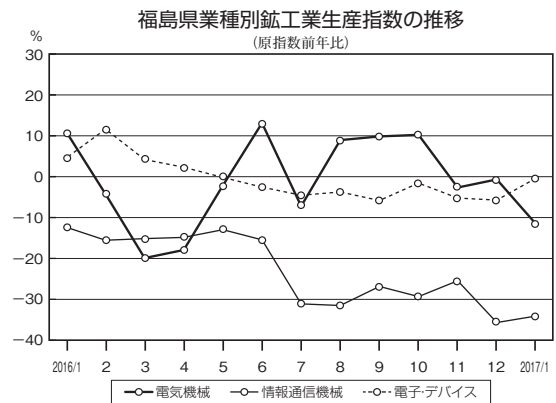
**紙・紙加工品** 2月の製紙の生産は、ノーカーボン紙、感熱紙とも前年を下回ったことなどから、合計では、前年を20%ほど下回る水準となった。

**清酒** 2月の清酒移出数量は、992kL（前年同月比△6.9%）と3カ月連続で前年を下回った。酒類別では、一般酒（特定名称酒以外の酒）が494kL（同△6.8%）と6カ月連続、特定名称酒（吟醸酒・純米酒・本醸造酒）が498kL（同△6.9%）と3カ月連続でそれぞれ前年を下回った。

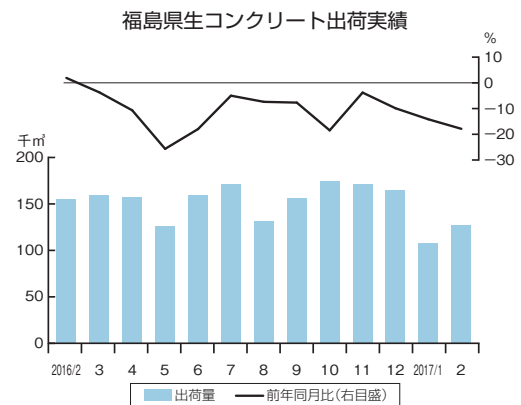
**化合繊維物** 2月の化合繊維物は、生産量が減少したものの、単価が上昇したことから、生産額では前年をわずかに上回った。

**ニット** 2月のニットは、春夏物製品の受注量が前年を下回ったことから、生産額も前年を約10%下回った。

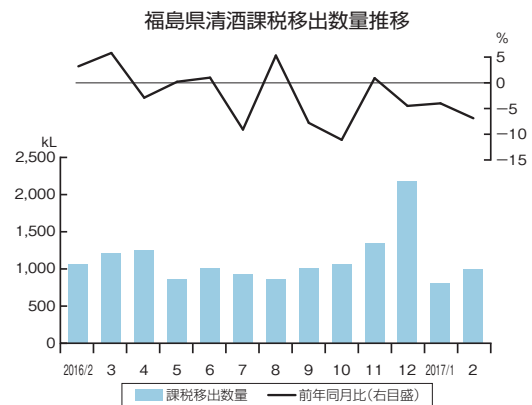
**電灯電力** 2月の電灯電力販売量は、1,274百万kWh（前年同月比△3.4%）となり、2カ月連続で前年を下回っている。



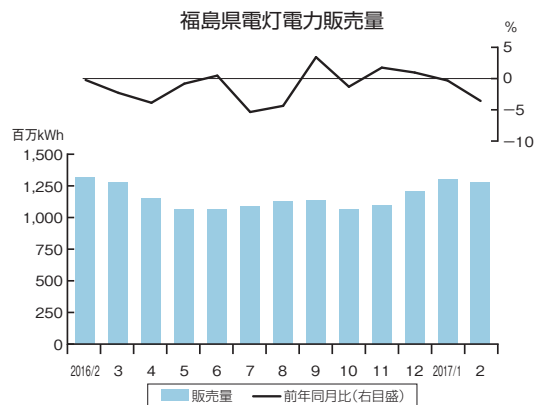
(資料：福島県企画調整部統計課)



(資料：福島県生コンクリート工業組合)



(資料：福島県酒造組合)



(資料：東北電力福島支店)